

- 1日 ○自販連、10月の国内新車販売台数を発表  
国内新車販売台数（含む軽）は、41万8,992台で前年比+12.5%と2か月ぶりのプラス  
国内新車販売台数（除く軽）は、26万1,554台で前年比+13.0%と3か月ぶりのプラス
- 米供給管理協会、10月のISM景況指数（製造業）を発表  
総合指数は57.7ポイントと前月（59.8ポイント）から下落
- イングランド銀行（BOE）、金融政策委員会を開催し、政策金利の据置き、資産買入れ枠の現状維持を決定  
・政策金利を0.75%に据置き  
・資産買入れ枠を維持（4,450億ポンド）
- 2日 ○米労働省、10月の雇用統計を発表  
非農業部門の雇用者数は前月比25.0万人増、過去2か月分は修正（9月分は同11.8万人増に下方修正（△1.6人）、8月分は同28.6万人増に上方修正（+1.6万人）  
失業率は3.7%と前月（3.7%）から横ばい
- 6日 ○総務省、9月の家計調査（二人以上の世帯）を発表  
実質消費支出は前年比△1.6%と3か月ぶりの減少、季調済前月比は△4.5%と2か月ぶりの減少（ともに、調査方法の変更の影響による変動を調整した推計値）  
基調判断は「持ち直しの動きに足踏みがみられる」とし下方修正
- 7日 ○厚生労働省、9月の毎月勤労統計（速報）を発表  
現金給与総額は前年比+0.2%で14か月連続の増加（うち所定内給与は同+0.5%、所定外給与は同+0.8%、特別給与は同△13.1%）
- 内閣府、9月の景気動向指数（CI）（速報）を発表  
先行指数は103.9（前月差△0.6ポイント）で2か月ぶりの下降、一致指数は114.6（前月差△2.1ポイント）で2か月ぶりの下降、遅行指数は119.8（前月差+1.4ポイント）で2か月連続の上昇、基調判断は「足踏みを示している」とし下方修正
- 8日 ○内閣府、9月の機械受注統計を発表  
民需（除く船舶・電力）は季調済前月比△18.3%と3か月ぶりの減少  
基調判断は「持ち直しの動きがみられるものの、9月の実績は大きく減少した」とした
- 財務省、9月の国際収支状況（速報）を発表  
経常収支は1兆8,216億円、前年比△4,367億円（黒字幅縮小）で51か月連続の黒字
- 東京商工リサーチ、10月の全国企業倒産状況を発表  
倒産件数は730件（前年比△0.4%）と2か月連続の前年比マイナス、負債総額は1,176億円（同+22.6%）、倒産企業の従業員数は3,964人（同+9.2%）、上場企業倒産は0件
- 内閣府、10月の景気ウォッチャー調査を発表  
景気の現状判断DIは前月差+0.9ポイントの49.5となり2か月ぶりの増加、先行き判断DIは前月差△0.7ポイントの50.6となり2か月連続の減少  
景気現状の基調判断は「緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、コストの上昇、通商問題の動向等に対する懸念もある一方、年末商戦等への期待がみられる」とし据置き
- 中国海関総署、10月の貿易収支を発表  
貿易収支は340億ドルと7か月連続の黒字、輸出は2,173億ドルで前年比+15.6%と7か月連続のプラス、輸入は1,833億ドルで前年比+21.4%と24か月連続のプラス
- FRB（米連邦準備制度理事会）、FOMC（米連邦公開市場委員会）を開催（7日～）  
・政策金利（フェデラルファンドレート）の誘導目標レンジを2.00～2.25%に据置き
- 9日 ○日本銀行、10月のマネーストック（速報）を発表  
M2は前年比+2.7%、M3は同+2.3%、広義流動性は同+2.2%
- 英政府統計局、2018年7-9月期のGDP（速報）を発表  
実質GDP成長率は前期比+0.6%、年率+2.5%
- 中国国家统计局、10月の消費者物価上昇率を発表  
総合指数は前年比+2.5%で前月（+2.5%）から伸びが横ばい
- 12日 ○平成30年度第13回経済財政諮問会議を開催  
「金融政策、物価等に関する集中審議」、「経済・財政一体改革（教育・科学技術）」、「経済・財政一体改革（社会資本整備・国土強靱化）」について議論
- 15日 ○東日本建設業保証会社等、10月の公共工事前払金保証統計を発表  
公共工事請負金額は前年比+9.5%で5か月ぶりのプラス
- 16日 ○国土交通省、9月の建設総合統計を発表  
公共工事出来高は前年比△2.6%で、5か月連続のマイナス
- 米FRB、10月の鉱工業生産を発表  
生産は季調済前月比+0.1%となり、過去2か月分は修正（9月は下方修正（同+0.3→+0.2）、8月は上方修正（同+0.4→+0.8）
- 19日 ○財務省、10月の貿易統計（速報）を発表  
輸出は自動車、原動機等が増加し、前年比+8.2%の7兆2,434億円、輸入は原油、液化天然ガス等が増加し、同+19.9%の7兆6,927億円、貿易収支は△4,493億円で2か月ぶりの赤字
- 20日 ○平成30年度第14回経済財政諮問会議を開催  
「今後の経済財政運営について」、「経済・財政一体改革（地方行財政）」、「経済・財政一体改革（社会保障②）」について議論

## 日誌

(11 月 中)

<p>22日 ○総務省、10月の消費者物価指数を発表 生鮮除く総合は前年比+1.0%となり、22か月連続のプラス</p> <p>○政府、11月の月例経済報告を発表 景気の基調判断を「景気は、緩やかに回復している」とし据置き</p> <p>23日 ○独連邦統計局、2018年7-9月期GDP(確報)を発表 実質GDP成長率は季調済前期比△0.2%、年率△0.8%となり、速報から変更なし</p> <p>26日 ○平成30年度第15回経済財政諮問会議を開催 「平成31年度予算編成の基本方針」について議論</p> <p>28日 ○米商務省、20187-9月期のGDP(2次速報)を発表 実質GDP成長率は前期比年率+3.5%(1次速報+3.5%から変更なし)</p> <p>29日 ○経済産業省、10月の商業動態統計を発表 小売業販売額は前年比+3.5%で12か月連続の増加、季調済前月比は+1.2%で5か月連続の増加 基調判断は「緩やかに持ち直している小売業販売」とし据置き</p> <p>30日 ○総務省、10月の労働力調査を発表 完全失業率(季調済)は2.4%で前月(2.3%)から上昇 雇用者数(原数値)は5,996万人で前年比119万人の増加 完全失業者数(同)は163万人で前年比18万人の減少</p> <p>○厚生労働省、10月の一般職業紹介状況を発表</p>	<p>有効求人倍率(季調済)は1.62倍となり、前月(1.64倍)から低下、雇用情勢の基調判断は「着実に改善が進む中、求人が求職を大幅に上回って推移している」とし据置き</p> <p>○経済産業省、10月の鉱工業指数(速報)を発表 生産は季調済前月比+2.9%、出荷は同+5.4%、在庫は同△1.4% 基調判断は「生産は緩やかに持ち直している」とし上方修正</p> <p>○国土交通省、10月の建築着工統計を発表 住宅着工総戸数(原数値)は、83,330戸(前年比+0.3%)と2か月ぶりのプラス、季調済年率は95.0万戸(前月比+0.8%)と3か月ぶりのプラス</p> <p>○中国国家统计局、11月の製造業PMI(購買部担当者指数)を発表 総合指数は50.0ポイントと前月(50.2ポイント)から低下、製造業活動の拡大・縮小の分岐点である50ポイントとなった</p> <p>東証株価指数(TOPIX)第1部(終値)</p> <p>月間最高値 1,681.25(8日) ◇ 最安値 1,615.89(21日)</p> <p>日経平均株価(終値)</p> <p>月間最高値 22,486.92円(8日) ◇ 最安値 21,507.54円(21日)</p> <p>東京外為市場(ドル・円相場, 銀行間直物, 17時時点)</p> <p>月間最高値 112.52円(20日) ◇ 最安値 114.17円(12日)</p>
---	--